

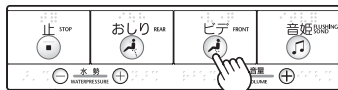
I D設定

※試運転 (P.17) でリモコンが作動しなかった場合のみ行ってください。

① リモコンを I D 設定状態にする

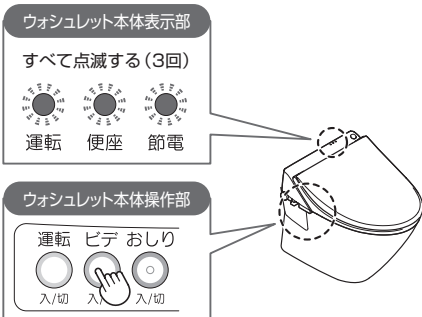
- リモコンの **ビデ** を10秒以上押す。

※設定状態は60秒間です。
時間内に②の操作を行ってください。



② ウォシュレット本体を I D 設定状態にする

- ウォシュレット本体操作部の **ビデ** を10秒以上押し続ける。ウォシュレット本体とリモコンの I D が正常に設定されると「ビッ・ビビッ」という電子音が鳴ります。
- ウォシュレット本体表示部のすべてのランプが3回点滅します。



設定が完了しました

※ウォシュレット本体表示部のすべてのランプが3回点滅しない場合は、もう1度最初からやり直してください。

③ もう一度、機能の確認をする

(試運転 ② 機能の確認 ④・⑤・⑥ ①⑦ 17ページ)

2008. 8. 7
D08268R

TOTO

施工説明書

ウォシュレット®

工事店様へ

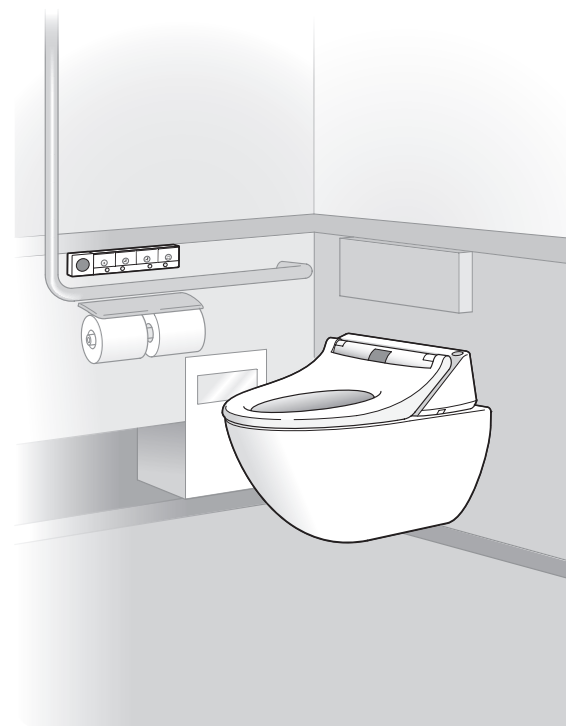
- 施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容によって正しく取り付けてください。
- 電気配線工事は必ず資格を持った電気工事が行ってください。
- **ウォシュレット本体とリモコンは同梱以外のものを取り付けしないでください。(I D 設定されていますので、同梱以外のものを取り付けると作動しません。)**
- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。
新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。

はじめに	2	はじめに
安全に関するご注意	2	
取り付け前のご注意	3	
同梱部品	4	
現場手配・準備部材	4	
各部のなまえ	5	

ウォシュレット本体の取り付け	6	ウォシュレット本体の取り付け
① 分岐金具の接続	6	
② 便器への取り付け	7	
③ プッシュの取り付け	8	
④ 給水ホースの接続	8	
⑤ 信号線の接続	10	
⑥ アース線の接続	10	
⑦ 電源プラグの確認	10	

リモコン取り付けの前に	11	リモコンの取り付け
リモコンの取り付け方法	11	
① 壁の開口	11	
② ハンガーの取り付け	12	
③ 電源電線の接続	14	
④ リモコンの取り付け	15	
⑤ 取り付け後の確認	15	

試運転	16	試運転他
① 水漏れの点検	16	
② 機能確認	16	
給水フィルターの掃除	18	
凍結のおそれがあるときの処置	19	
I D 設定	裏表紙	



◆ “ウォシュレット” はTOTOの登録商標です。

はじめに

- 便ふたがキャビネットに当たる場合は、当たり音軽減のため同梱のクッションを貼り付けてください。(便ふたありのみ)

安全に関するご注意

警告

誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意

誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

絵表示の例



してはいけない「禁止」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告



製品に水や洗剤をかけない
(火災や感電の原因になります。)



浴室など湿気が多い場所には設置しない
(火災や感電の原因になります。)



指定する電源(交流100V)以外では使用しない
(火災の原因になります。)

電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまま使用しない
(火災や感電の原因になります。)

ウォシュレットは水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外では使用しない
(皮膚の炎症などを起こす原因になります。)

微弱な信号を取り扱う電子機器・医療機器を近くで使用しない。
(誤作動などの影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。当該の医療機器メーカーおよび販売業者に電波による影響についてご確認ください。)

リモコン接続部の電源電線の芯線をリモコンハンガーに接触させない
(火災や感電の原因になります。)

リモコン端子に電源電線を接続するときは無理な力を加えない
(端子が破損して火災の原因になります。)



ウォシュレット用電源プラグは根元まで確実に差し込む
(プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)

電源電線をリモコンの端子に差し込むときは根元まで確実に差し込む
(火災の原因になります。)

リモコン接続用の電源電線はVVVFケーブル2芯 φ1.6またはφ2.0銅単線を使用する
(これ以外の電線を使うと火災の原因になります。)

電気工事は「電気設備技術基準」や「内線規定」に従って確実に
(従わないと火災や感電の原因になります。)



アース(D種接地)を確実に取り付ける
(アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)

安全に関するご注意

注意



禁止

便座・便ふた(便ふたありのみ)を持って製品を持ち上げない
(ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない
(水漏れの原因になります。)

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない
(水が噴き出します。)



必ず守る

施工は施工説明書に従って確実に行う
(正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)

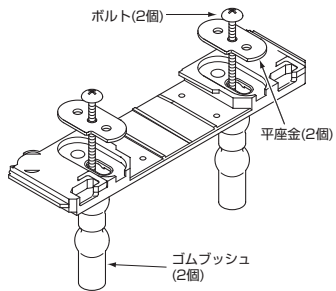
給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める
(確実に締めないと水漏れの原因になります。)

取り付け前のご注意

1. 製品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
2. 便器に取り付ける前に、ウォシュレット本体にベースプレートをセットして通電しないでください。
温水タンクが空の状態ヒーターが入るため、故障の原因となります。
3. 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力はウォシュレット部：1282W、リモコン：1Wです。
この電力に適した配線をしているか確認してください。
4. ウォシュレット電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
5. ウォシュレットの給水圧力範囲は0.05MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧)です。この圧力範囲で
ご使用ください。
6. 給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。
7. 同梱以外の給水ホース、分岐金具を使わないでください。
8. ウォシュレット本体、リモコンは同梱されているペアで取り付けてください。
(I D設定されていますので、同梱以外のものを取り付けると作動しません。)

同梱部品

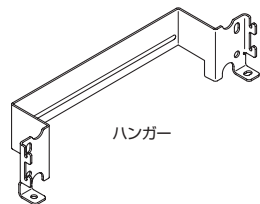
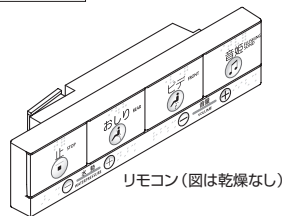
ベースプレート部品



信号線

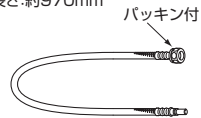


リモコン部品

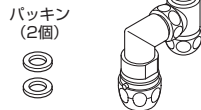


給水ホース

長さ:約970mm



分岐金具(分岐金具ありのみ)



ウォシュレットエルボ



ブッシュ



フック



印刷物

施工説明書(本書)、取扱説明書、使い方をラベル



クッション

取付説明書付



固定ねじ



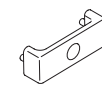
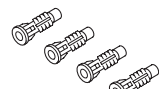
<差し込み口用>



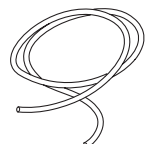
<中継用>



タッピンねじ(φ3×8 1本)
押え板固定用



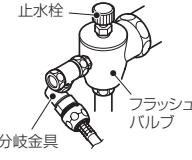
現場手配・準備部材(リモコン取り付け用)



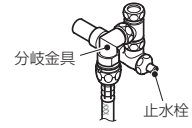
各部のなまえ

止水栓

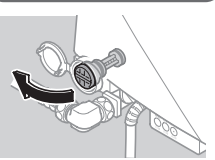
フラッシュバルブ止水栓*



ウォシュレット止水栓*

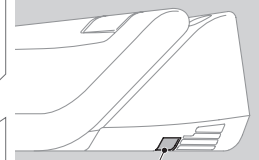


給水フィルター付水抜栓

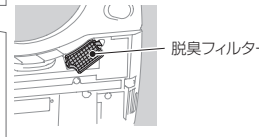


ウォシュレットリモコン(図は乾燥なし)

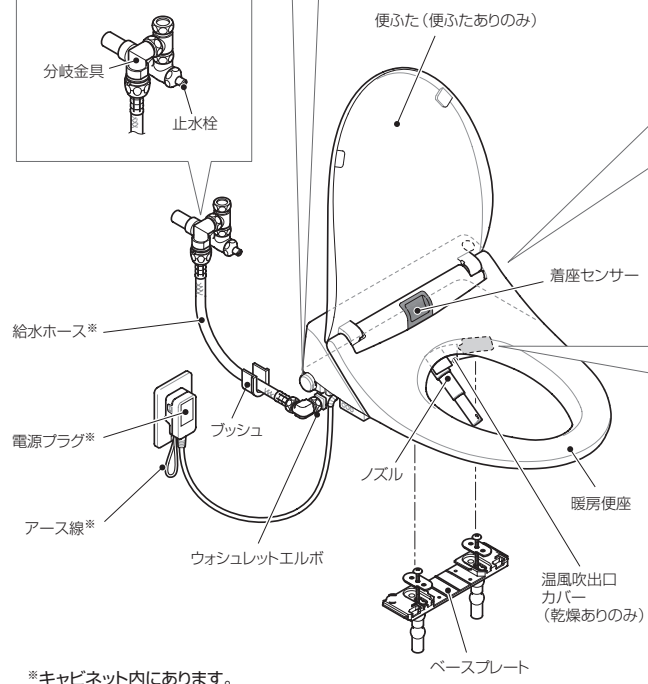
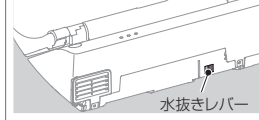
ウォシュレット本体側面



ウォシュレット本体裏面



ウォシュレット本体後方



*キャビネット内にあります。

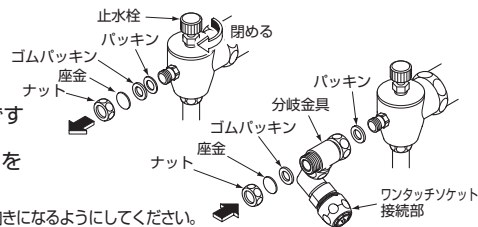
ウォシュレット本体の取り付け

1 分岐金具の接続

※止水栓はキャビネット内にあります。

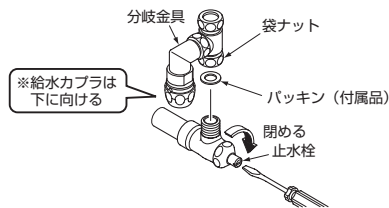
フラッシュバルブへ接続する場合

- 1 止水栓を開める
- 2 ナット・座金・パッキン(2ヶ)を取りはずす
- 3 分岐金具・ナット・座金・パッキン(2ヶ)を取り付ける
 - 分岐金具は、ワンタッチソケット接続部が床方向に45°下向きになるようにしてください。



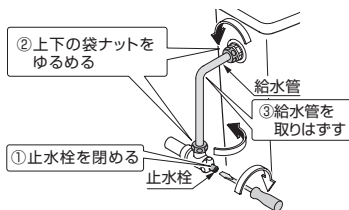
ウォシュレット止水栓へ接続する場合

- 1 止水栓を開める
- 2 分岐金具の袋ナットを止水栓に締め付ける

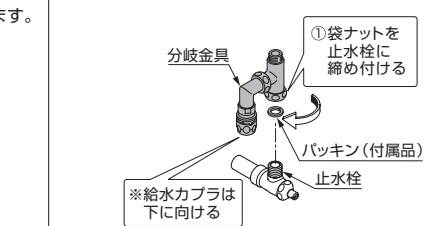


一般のロータンクへ接続する場合

- 1 止水栓を開め、給水管を取りはずす
 - ※さびている古い給水管は、お取り替えをおすすめします。

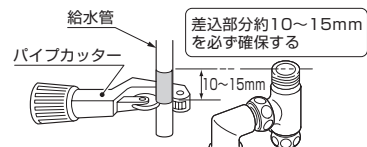


- 2 分岐金具を止水栓に取り付ける

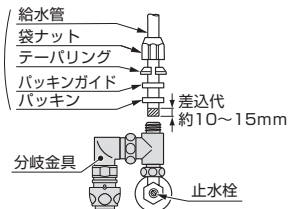


- 3 給水管の止水栓側を切断する

- 給水管の切断はパイプカッターを使用してください。切断後は切粉などを取り除いてください。

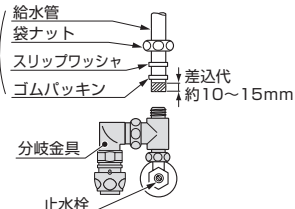


接続部にテーパリングを使用している場合

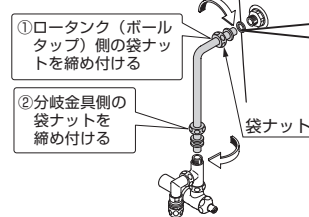


- 部品の順番、向きを間違えないでください。

接続部にテーパリングを使用していない場合

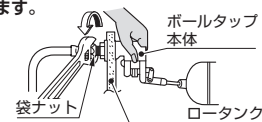


- 4 給水管を取り付ける



注意

- ボールタップ本体が回らないようにしっかり持って袋ナットを締めてください。
- ボールタップが傾いて取り付けられると止水不良の原因になります。



2 便器への取り付け

- 1 ベースプレートをセットする

注意 ベースプレート部品を分解しないでください。

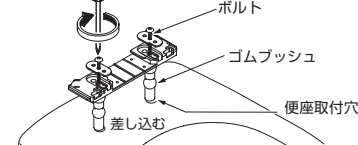
- ①平座金の取付面を確認する (左右2カ所)
 - 図と表示されている面を上にしてください。



- ②図と表示されている中央の穴にボルトが差し込まれているかを確認する (左右2カ所)



- ③ゴムブッシュを便座取付穴に差し込む (左右2カ所)
 - ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくとし込みやすくなります。



- 2 ベースプレートを固定する

- ベースプレートを手でしっかり押さえ、ボルトを⊕ドライバーで回らなくなるまでしっかり締め付けてください。

- 3 ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む

- ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。



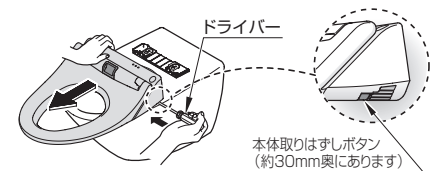
注意 正しく取り付けなかった場合は、ウォシュレット本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。

※ウォシュレット本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタツキが発生します。(これは、ワンタッチ着脱を行うために設けたスライド部のスキマによるもので、異常ではありません。)

ウォシュレット本体の取りはずしかた

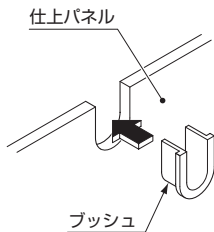
- ウォシュレット本体右側の本体取りはずしボタンをドライバー等で奥まで押しながら、ウォシュレット本体を手前に引いてください。

- 電源コード、信号線、給水ホースを引っばらないよう注意してください。



③ ブッシュの取り付け

- 仕上げパネル加工部（給水ホース、電源線、信号線引き込み口）にブッシュを取り付けます。
- ブッシュの幅にあわせて穴をあけ、取り付けてください。



④ 給水ホースの接続

① ウォシュレット本体をベースプレートから取りはずす

（② 便器への取り付け ④ 7ページ 参照）

② ウォシュレット本体の給水口にウォシュレットエルボの袋ナットを締め付ける

⚠ 注意

給水口をモンキーレンチで固定して給水ホースを接続してください。
（無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れする原因になります。）

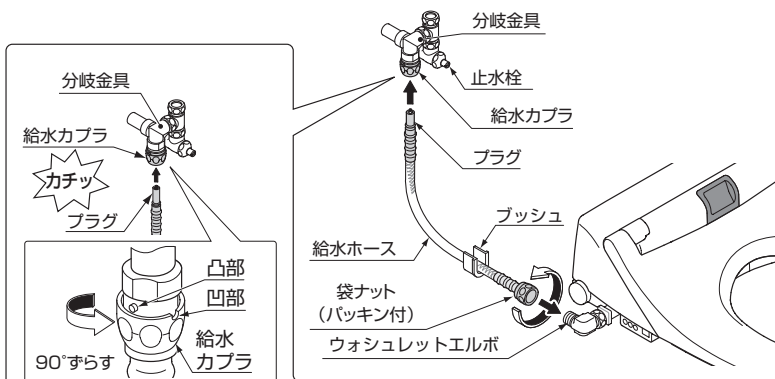


③ ウォシュレットエルボに給水ホースの袋ナットを締め付ける

④ 給水ホースを分岐金具の給水カブラに差し込む

（差し込み後、給水カブラの凸部と凹部を90°ずらしてください。）

※分岐金具はキャビネット内にあります。



※金属部に傷を付けないようにしてください。またゴミなどは取り除いてください。
※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

⑤ 給水ホースを取り付けた状態で、ウォシュレット本体を取りはずしたり取り付けたりできる長さがあるか確認する

※給水ホースの長さが足りないときは下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。

（同梱品の給水ホースの長さは970mmです。）

お求めはTOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンター

TEL ☎0120-8282-55・FAX ☎0120-8272-99 へご連絡ください。

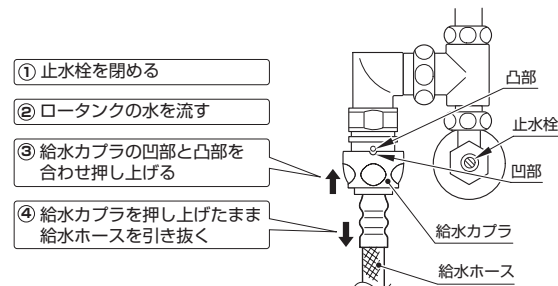
給水ホース長さ (mm)	品番	希望小売価格
1180	D24009ZSt5	¥2,000 (税込¥2,100)
1480	D24009ZSt6	¥2,300 (税込¥2,415)
1980	D24009ZSt7	¥2,800 (税込¥2,940)

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※分岐金具の給水カブラは一時止水機能付ですが、給水ホースをはすすときは必ず止水栓を閉めてください。

給水ホースのはずしかた

- 施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは、次の手順で行ってください。

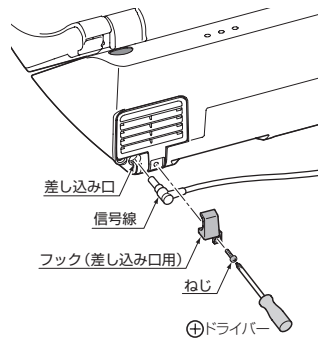


⑥ ウォシュレット本体をベースプレートに取り付ける

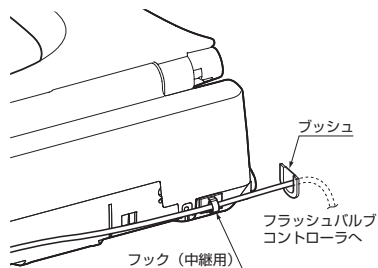
（② 便器への取り付け ④ 7ページ）

5 信号線の接続 (自動フラッシュバルブに接続する場合)

① ウォシュレット本体背面の差し込み口に信号線を差し込み、フック(差し込み口用)を取り付ける



② フック(中継用)を図の位置に取り付け、信号線を固定する



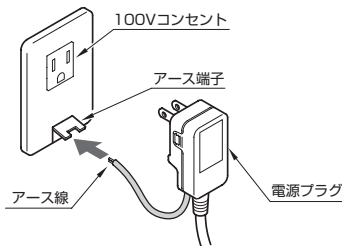
③ 信号線をフック部を通してキャビネット内に引き込み、フラッシュバルブコントローラのコネクタ(黒色)と接続する

●コネクタ接続方法は、自動フラッシュバルブ同梱の説明書をご覧ください。

6 アース線の接続

●アース線をコンセントのアース端子に接続してください。

※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。
※コンセントはキャビネット内にあります。



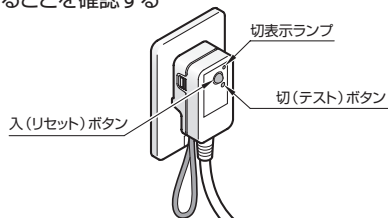
7 電源プラグの確認

① 電源プラグを100V(50/60Hz)のコンセントに差し込む

●乾燥なしの場合：ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。
●乾燥ありの場合：温風吹出口カバーが開閉したあと、ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。

② 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する

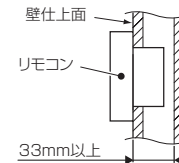
●「切(テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する
●「入(リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する
以上のように作動すれば正常です。
●「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。
テスト後は必ず「入(リセット)」ボタンを押してください。



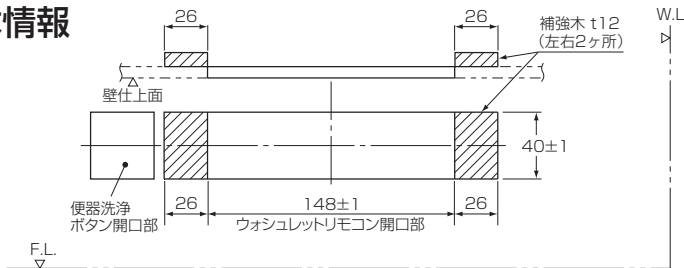
リモコン取り付けの前に

設置条件

●リモコンを取り付けるには、壁の奥行きが33mm以上必要です。



補強木情報



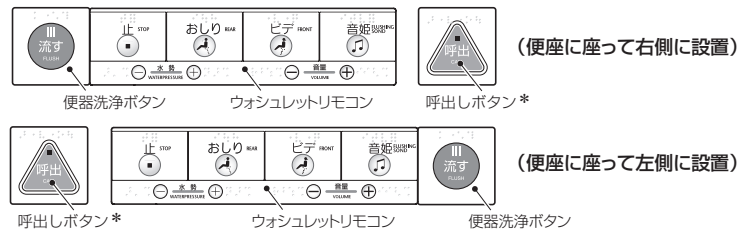
リモコンの取り付け方法

※リモコンの取り付け位置は商品図面をご覧ください。

① 壁の開口 すでに開口されている場合 → 手順②ハンガーの取り付けへ

注意 タイルの水洗いは、開口部を養生した状態で行ってください。

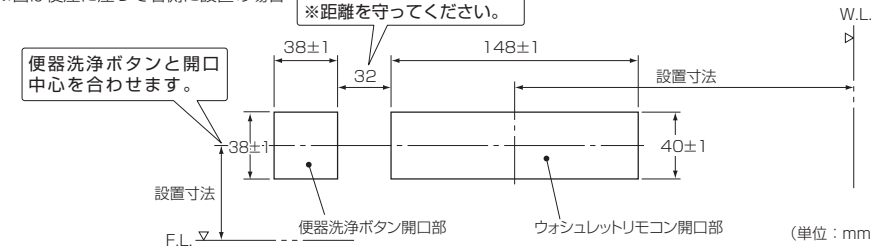
呼出しボタンを併設する場合



● 開口部を野書き、開口する

※図は便座に座って右側に設置の場合

便器洗浄ボタンとの距離を32mmあけます。
※距離を守ってください。



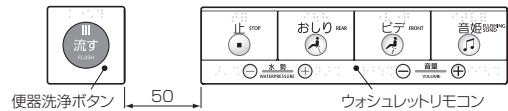
▶次ページへ続く

* 呼出ボタンはアイホン(株)の取り扱い製品です。
(当社取り扱い製品ではありません。)

お問い合わせ先) アイホン(株) お客様相談センター
TEL 0120-141-092 (携帯電話・PHSからのご相談はできません)
受付時間 9:00~17:30(土・日曜、祝日およびお盆、年末年始、ゴールデンウィークを除く)

呼出しボタンを併設しない場合

便器洗浄ボタンとの距離を50mmあけます。



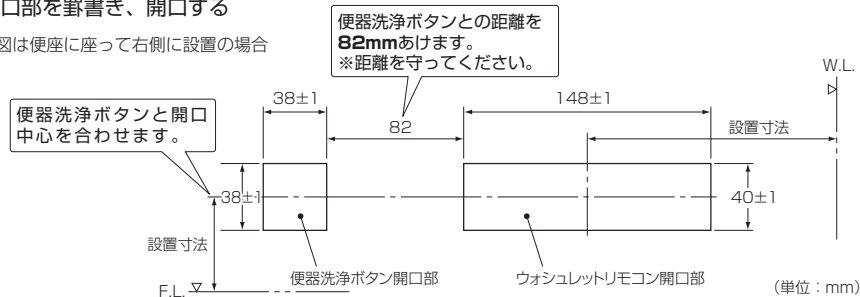
(便座に座って右側に設置)



(便座に座って左側に設置)

開口部を罫書き、開口する

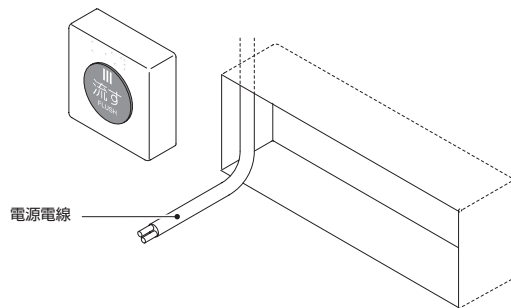
※図は便座に座って右側に設置の場合



② ハンガーの取り付け

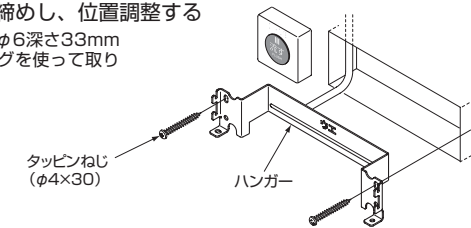
- 便器洗浄ボタンの位置を基準として取り付けます。
便器洗浄ボタンが取り付けられていない場合は、先に便器洗浄ボタンを取り付けてください。
※便器洗浄ボタンの取り付け方は「タッチスイッチ施工説明書」をご覧ください。

① リモコン取付け用開口部より電源電線を引き出す

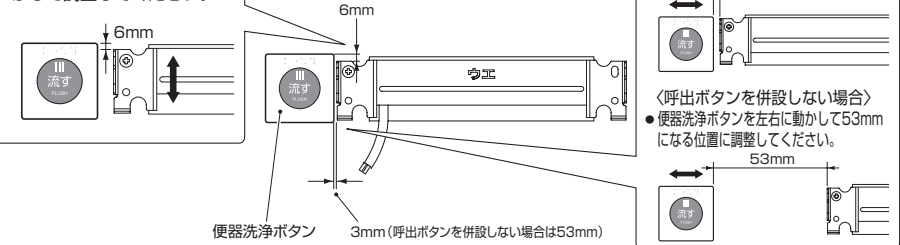


② ハンガーの上側の穴をねじで仮締めし、位置調整する

- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。



- リモコンハンガーを上下に動かして調整してください。



〈呼出ボタンを併設する場合〉

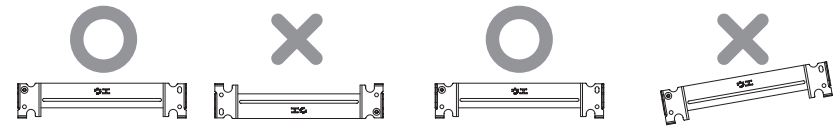
- 便器洗浄ボタンを左右に動かして3mmになる位置に調整してください。

〈呼出ボタンを併設しない場合〉

- 便器洗浄ボタンを左右に動かして53mmになる位置に調整してください。

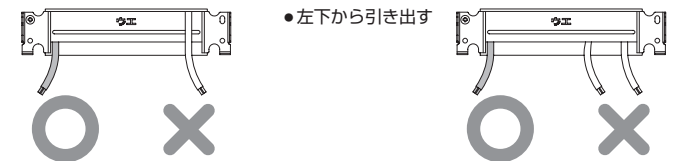
注意 ハンガーは、正しく取り付けてください。

- 「ウエ」表示を上にする
- 水平に取り付ける

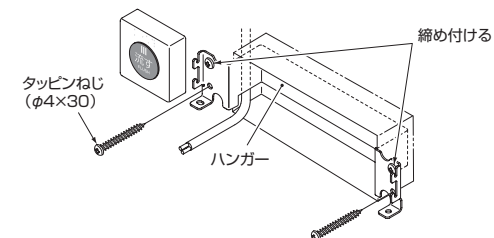


③ 電源電線を、図のように引き出す

- ハンガーの後ろから引き出す
- 左下から引き出す

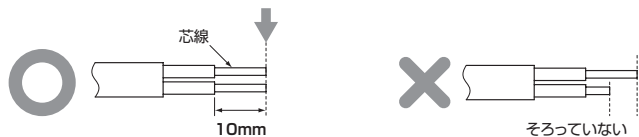


④ ハンガーの下側の穴をねじで固定し、仮締めした上側のねじも締め付ける

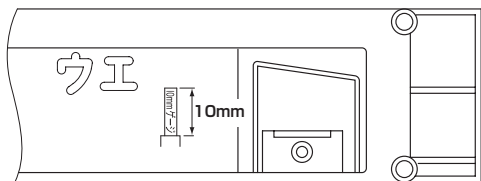


3 電源電線の接続

1 電源電線の被覆を10mmむく

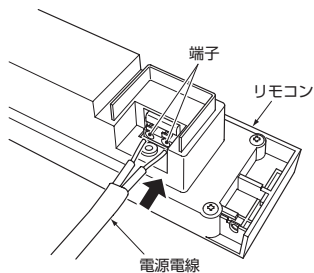


- リモコン裏側のストリップゲージで寸法を確認できます。

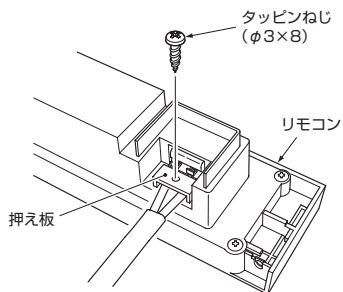


2 リモコン裏面の端子に芯線を奥まで確実に差し込む

- 芯線が見えなくなるまで差し込んでください。



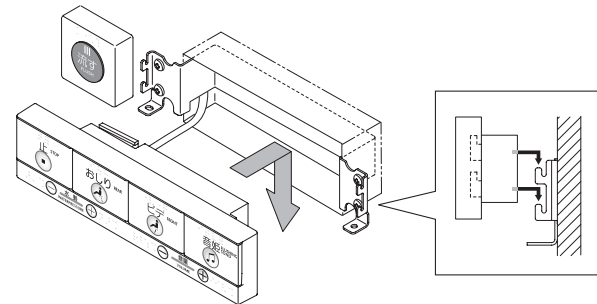
3 押さえ板をリモコン裏面の穴位置に合わせて置き、ねじで固定する



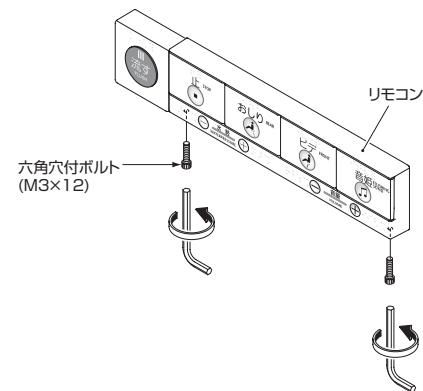
4 リモコンの取り付け

1 リモコンをハンガーに取り付ける

- 配線がかみ込まないように注意してください。
- 壁やリモコンのキズ付き防止のため、壁とリモコンの間に紙を敷いてください。
- 便器洗浄ボタンとウォシュレットリモコンが干渉する場合は、便器洗浄ボタンを微調整することができます。調整のしかたは「タッチスイッチ施工説明書別紙」をご覧ください。



2 ハンガーとリモコンをボルトで固定する



5 取り付け後の確認

リモコンがガタついていないか確認する

- ガタついている場合はボルトを増し締めするなどして、ガタつかないように取り付けてください。
- リモコン全周にシリコンを充填することをおすすめします。

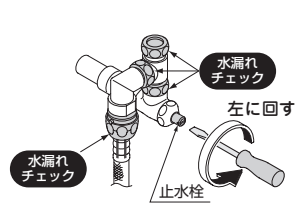


試 運 転

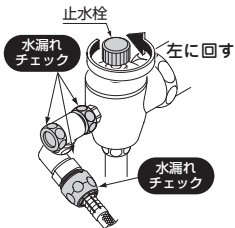
1 水漏れの点検

- 止水栓を開けて配管接続部から水漏れがないことを確認します。
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認します。
※ 万一、水漏れがあれば、再施工を行い水漏れを止めてください。

止 水 栓



ウォシュレット止水栓



フラッシュバルブ止水栓

ウォシュレット本体

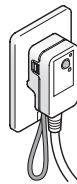


水漏れチェック

2 機能の確認

1 電源プラグを入れる

- 乾燥なしの場合：ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。
- 乾燥ありの場合：温風吹出口カバーが開閉したあと、ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。



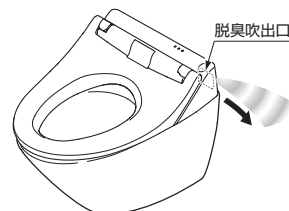
2 着座センサーを白紙でおおう

- ノズル付近から数秒間水が出ます。
(便座を閉めないとき着座センサーははたらきません。)
- 脱臭を始めます。



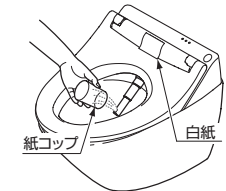
3 脱臭機能を確認する

- ウォシュレット本体背面右側の吹出口より風が出ていますか？



4 洗浄機能を確認する

- ① おしり・ヒゲのボタンを押す → ノズルから適温の温水が出ますか？
- ② 水勢の +・- ボタンを押す → 水勢が変化しますか？
- ③ 止 ボタンを押す → 温水が止まりますか？



● 吐水は紙コップなどで受け取ってください。

リモコンが作動しないときは・・・

次の確認を行ってください。

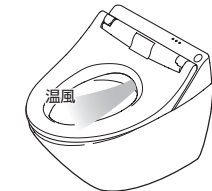
- リモコンの電線が正しく接続されていますか？
→ 電線を正しく接続してください。(③ 電源電線の接続 14ページ)
- 電源が供給されていますか？
- 同梱以外のリモコンを取り付けていませんか？
ウォシュレット本体とリモコンはID設定されているので同梱以外のものでは作動しません。
→ IDの再設定を行ってください。(ID設定 裏表紙)
※ ID設定は複数同時に行わないでください。
他のウォシュレットとID設定される可能性があります。

5 音姫機能を確認する (音姫ありのみ)

- ① 音姫のボタンを押す → 流水音が流れますか？ (約25秒)
- ② 音量の +・- ボタンを押す → 音量が変化しますか？
- ③ 音が流れている間にもう一度音姫のボタンを押すと、その時点から延長されますか？ (約20秒間延長されます。)

6 乾燥機能を確認する (乾燥ありのみ)

- ① 乾燥のボタンを押す → 温風がノズルの右側から出ますか？
- ② 止 ボタンを押す → 温風が止まりますか？



7 暖房便座機能を確認する

- 便座があたたまるまで約15分かかります。

8 着座センサーを白紙で6秒以上おおった後、白紙をはずす

- 約30秒間ノズルが少し出た状態で少量の水が出ます。
※ ノズル収納後、温風吹出口カバーが少し開いて閉まります。(乾燥ありのみ)

9 オートパワー脱臭機能を確認する

- 脱臭音が大きくなりますか？
- 約60秒後に自動で止まりますか？

給水フィルターの掃除

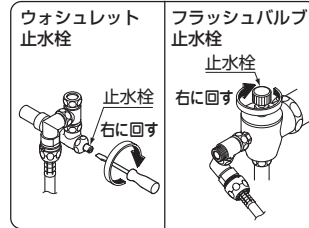
- 試運転後は必ず給水フィルターを掃除してください。
(フィルターにゴミが詰まると、おしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。)

① 止水栓を閉めて給水を止める

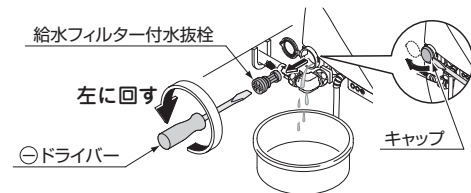
- ロータンクレバーを回す。または、フラッシュバルブボタンを押し、水を完全に抜いてください。①を10秒以上押し、②を3秒以上押し、ノズルを伸出させてください。(給水管内の圧抜きです。)

⚠ 注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない
(水が噴き出します。)

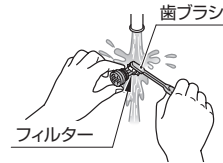


② キャップを開けて、給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってははずす



③ フィルターを水洗いして小さなゴミを取る

- ※ウォシュレット本体の給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。

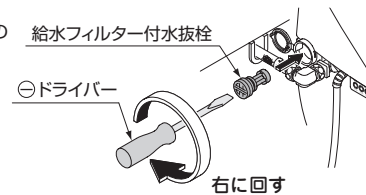


④ 給水フィルター付水抜栓を押し込み、確実に締める

- ※ノズルが戻っている場合は、「①項の給水管内の圧抜き」の手順で、ノズルを伸出させてください。

⚠ 注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める
(確実に締めないとき水漏れの原因になります。)



⑤ ① を押し、ノズルを戻す

⑥ 止水栓を開けて給水フィルター付水抜栓部から水漏れがないことを確認する

⑦ キャップを閉める

凍結のおそれがあるときの処置

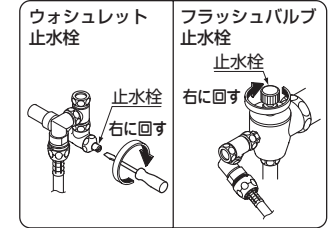
- お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故防止のため、次の要領で水抜きしてください。
(電源プラグは差し込んだままにしてください。)

① 止水栓を閉めて給水を止める

- フラッシュバルブボタンを押す、またはロータンクレバーを回して、水を完全に抜いてください。

⚠ 注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない
(水が噴き出します。)



② 配管の水を抜く

- ① ノズルを出す。(配管内の残水を抜く準備です。)

- ・リモコンの①を10秒以上押し。(ウォシュレット本体表示部のランプがすべて点灯する)
- ➡ スイッチから手を離すとウォシュレット本体表示部のランプがすべて点滅する。
- ➡ ②を3秒以上押し。(約60秒後にピーという電子音が鳴り、ウォシュレット本体表示部のランプがもとに戻ります。)

- ② キャップを開けて給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってははずす。
(給水フィルターの掃除 ④ 18ページ 参照)

- ③ 給水ホース内の水を抜く。(約30ml)

③ ウォシュレット本体を取りはずす

- (② 便器への取り付け ④ 7ページ 参照)

- 取りはずしたウォシュレット本体は便器上面の前方に置いてください。

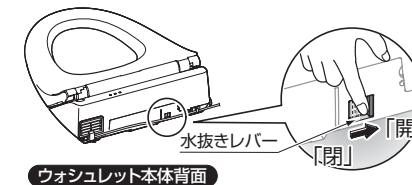
④ ウォシュレット本体内の水を抜く

- ① 水抜きレバーを「開」位置に押し続ける

- ウォシュレット本体のノズル付近から水(約40ml)が便器内に出ます。水が完全に抜けるまで約15秒かかります。
- 水抜きレバーを押している途中にノズルが自動で出てきます。ノズルの穴から少量の水が出て、約30秒後に自動で戻ります。

※ウォシュレット本体のノズル付近および、ノズルの穴から出る水が便器内に落ちるようにしてください。

- ② 手を離し、水抜きレバーを「閉」位置に戻す



⑤ 給水フィルター付水抜栓を押し込み、確実に締めてキャップを閉める

- ※ノズルが戻っている場合は、「②項の①ノズルを出す」の手順でノズルを伸出させてください。
(給水フィルターの掃除 ④ 18ページ 参照)

⑥ ① を押し、ノズルを戻す

⑦ ウォシュレット本体を取り付ける

- (② 便器への取り付け ④ 7ページ 参照)